

子どもの事故に注意！

車内閉じ込め事故に注意！

事例

スーパーの駐車場で車のカギを車内に置き忘れまま車外に出た。

何らかの理由でドアがロックされてしまった。幼児が車内に閉じ込められてしまい、熱中症にかかり危険だった。

- 子どもを車内に残して絶対に車を離れてはいけません。特に、夏場は短時間で高温になります。
- 車の年式や車種によっては、電子キーの電池が切れることにより施錠される場合があります。電池が切れた際の開錠方法を確認しておくことも大切です。

加熱式たばこの誤飲に注意！

事例

幼児が加熱式たばこの葉っぱの入っている部分全体を口の中に入れていた。幼児がグッタリ、フラフラするようになり救急要請した。

対処

口の中にたばこ葉がある場合はかき出す。水や牛乳などは飲ませず、直ちに医療機関受診（飲ませると水分にニコチンが溶け出し、吸収されやすくなってしまいます）

- 誤飲事故は、たばこ、医薬品、ボタン電池などが多く確認されています。
- 子どもの手が届くところ（床面から1 m以下の場所）に置かないようにしましょう。
- 低い場所の扉や引き出しは簡単に開かないようにするなどの工夫をしましょう。